

令和4年度 学校関係者評価報告書

学校法人新潟総合学院
長岡公務員・情報ビジネス専門学校
自己点検・評価委員会
学校関係者評価 専門部会委員会

学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校自己点検・評価委員会「学校関係者評価」専門部会委員会は、令和4年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しました。以下のとおり、報告致します。

1. 「学校関係者評価」専門部会委員

- ・本校専門分野における業界関係者
阿部 正喜 氏 株式会社第一印刷 常務取締役
- ・本校卒業生
栗原 達勇 氏
- ・本校校長
鈴木 栄一 学校法人国際総合学園 長岡公務員・情報ビジネス専門学校
- ・本校校長の指名する者
山口 昌一 学校法人国際総合学園 長岡公務員・情報ビジネス専門学校
秋丸 進也 学校法人国際総合学園 長岡公務員・情報ビジネス専門学校
片野 史高 学校法人国際総合学園 長岡公務員・情報ビジネス専門学校

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価
基準1 教育理念・教育	・学校創立から目標等の一貫した指導が評価できる。 ・変化の激しい社会へ対応できる人材の育成を期待する。
基準2 学校運営	・教職員間の連携、教務と事務局間の連携を密にとって運営してもらいたい。 ・災害時等の学生の安全管理を意識して欲しい。 ・避難訓練のあり方や安全確認の方法なども再検討すべき。
基準3 教育活動	・IT、ビジネスマナー等については十分な知識が身に付いている。より実務に沿った内容を検討していくことで、企業のニーズに合った学生を輩出して欲しい。 ・コミュニケーション能力の向上を図る授業は全学科に必要である。身に付ける実習などが今以上にあると良い。
基準4 教育成果	・各種資格の取得は十分に成されているが、より実務に則した内容が増えることが望ましい。 ・各学科が幅広く学んでおり、様々な職種で活躍できる人材を育成していると思われる。
基準5 学生支援	・学生支援機構、NSG奨学金等といった奨学金での支援に加えて、学校独自の学費減免制度の2本建で学生支援を行なっ

	ている点は評価できる。 ・就職活動における学生支援も評価できる。
基準6 教育環境	・パソコン室や、教室は十分である。またタブレットを活用できる環境も整っており今後の有効活用が期待できる。 ・学習環境とその有効活用が重要である。
基準7 学生の募集と受入	・目的意識が明確な学生が多い学科と、意識の低い学生の多い学科に、差があるように感じられる。 ・座学が中心になりがちの学科も見られるが、今以上にインターンシップなどを充実させ社会性を身に付けて欲しい。
基準8 財務	・本学は、NSGグループの専門学校群の一員であり、財務に関しても本部経理部が一元管理している。
基準9 法令等の順守	・ビジネス社会で活躍できる人材を育成する学校であり、法令等の遵守は当然である。
基準10 社会貢献	・地域社会との共生と言う視点から、様々な地域活動等に参加している点は評価できる。 ・年間を通じてのボランティアや、公的機関からの依頼による各種ポスター等の制作など、積極的に参加していることは評価できる。可能な範囲で継続して欲しい。

3. 学校関係者評価 全体的な総括

項目	評価
自己点検・自己評価報告書 を見ての全体的な意見	・地域に根づいた学校として評価されている。 ・時代のニーズに合わせた大胆な変革も必要。社会のニーズに応えられる人材を輩出していただきたい。 ・スペシャリストの育成の留まらず、人間力育成を行なうという方針は継続すべきである。

以上